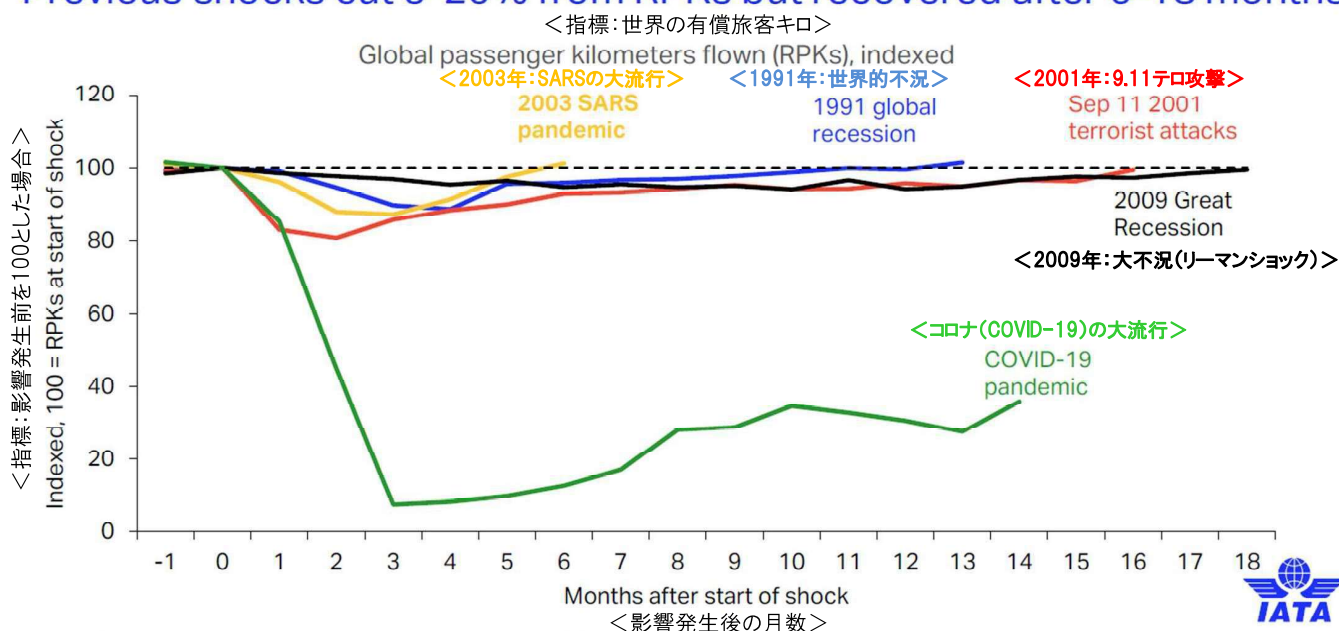


第3回懇話会での主な資料

新型コロナウイルス感染症の航空需要への影響

- コロナ(COVID-19)は、これまでのパンデミックと比べて、航空需要への影響が甚大かつ長期化
⇒これまでのパンデミックでは、航空需要(旅客キロ)が5~20%減少したが、6~18ヶ月後には回復

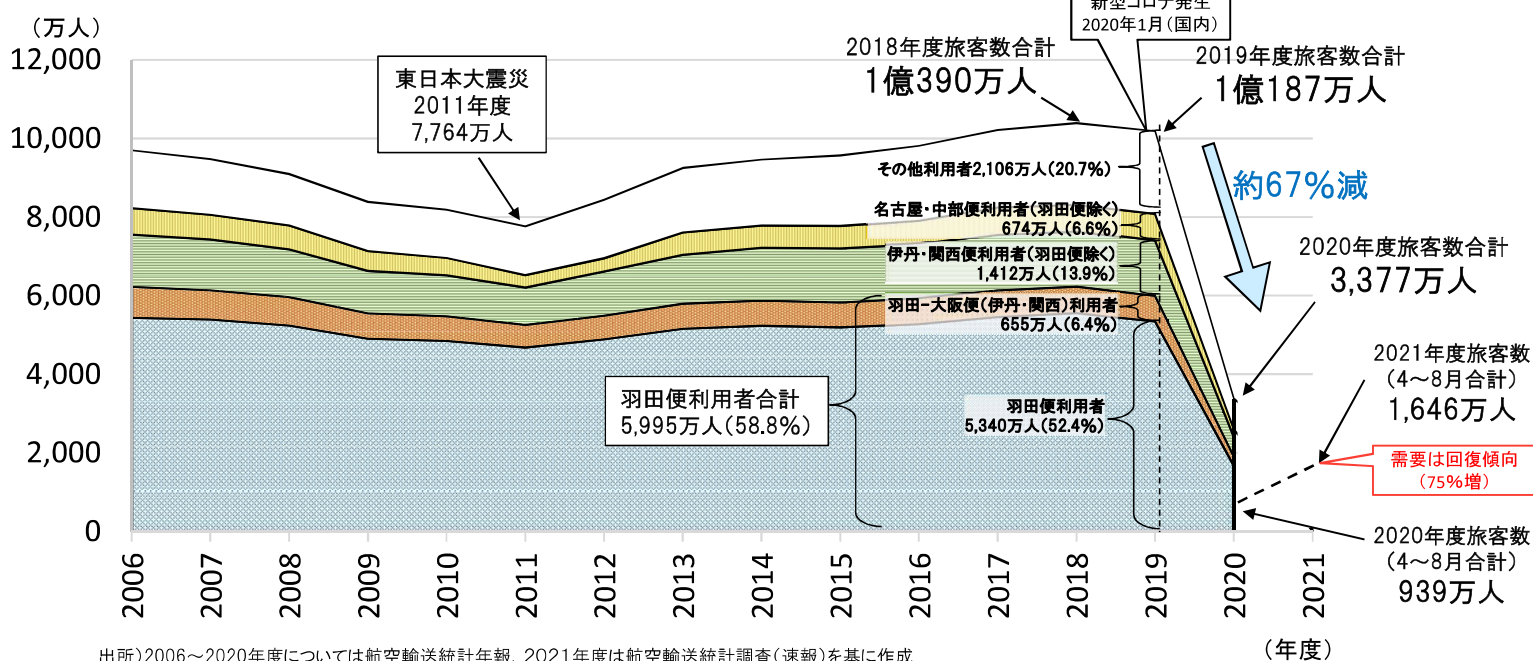
Demand shocks do not usually have long-lasting impacts
Previous shocks cut 5-20% from RPKs but recovered after 6-18 months



航空需要の推移(国内線)①

- 燃油価格高騰の影響により2007年度より減少に転じ、2008年のリーマンショック以降の景気後退、2011年の東日本大震災の影響を受け減少傾向
- 2012年度からLCC参入等により2018年度をピークに増加
- 2020年3月以降の新型コロナの本格的な拡大により2020年度において対前年比で約67%減と大きく減少
- 2021年(4~8月)の旅客数は前年同期比で約75%増となり、国内航空需要は回復傾向

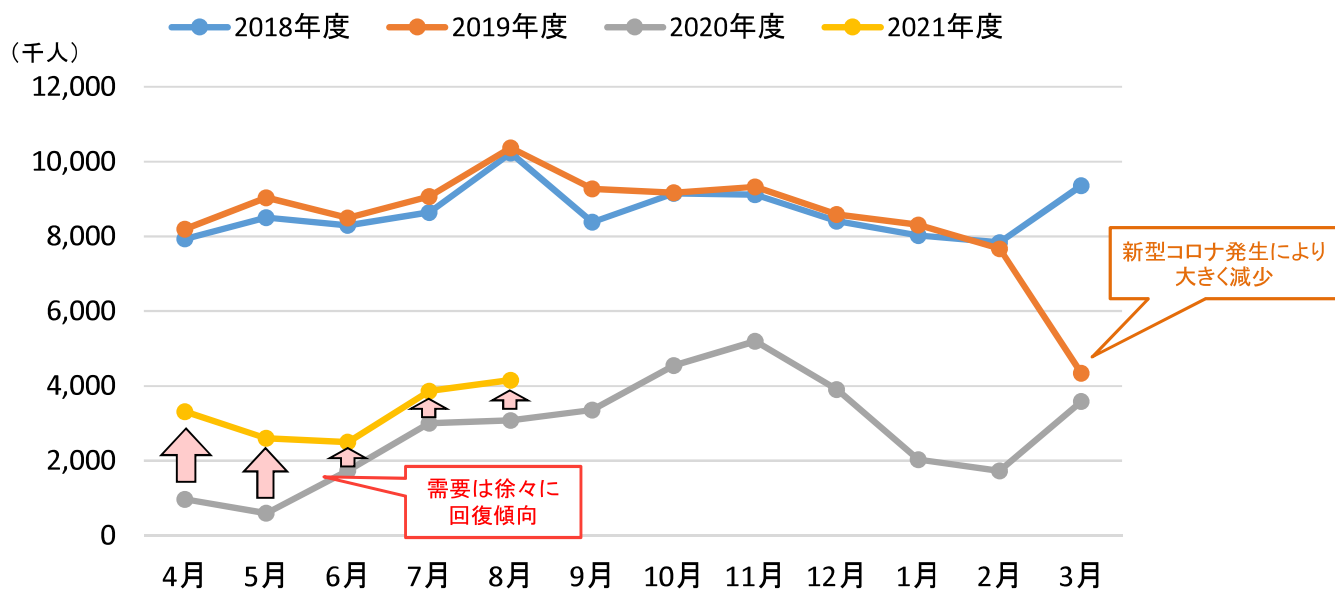
■国内航空旅客数の推移



航空需要の推移(国内線)②

- 2019年度の3月から新型コロナ発生により前年度に比べ大きく減少
- 2020年度においても大幅な減少のまま推移していたが、2021年度に入り需要は徐々に回復傾向
- 減少する旅客数に対し、エアライン各社は収支を整えるため、運航便数を減便して対応

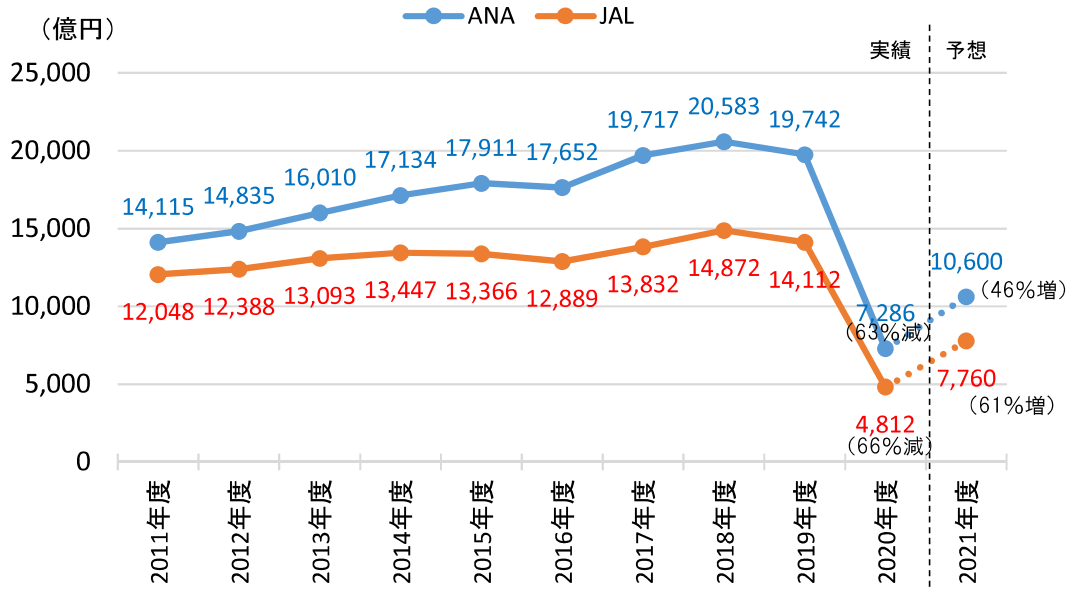
■国内航空旅客数の推移(月別)



国内主要航空会社の経営状況

- 各社2018年度がピーク
- 新型コロナ発生の影響等により、2019年度より営業収入は減収となり、2020年度では前年比60%以上の減収となっている
- 2021年度の業績予想では、各社とも2020年度に比べ増収見込みとなっている
- 各社は、コロナ後を見据えた事業構造改革や経営効率化に着手

■営業収入の推移

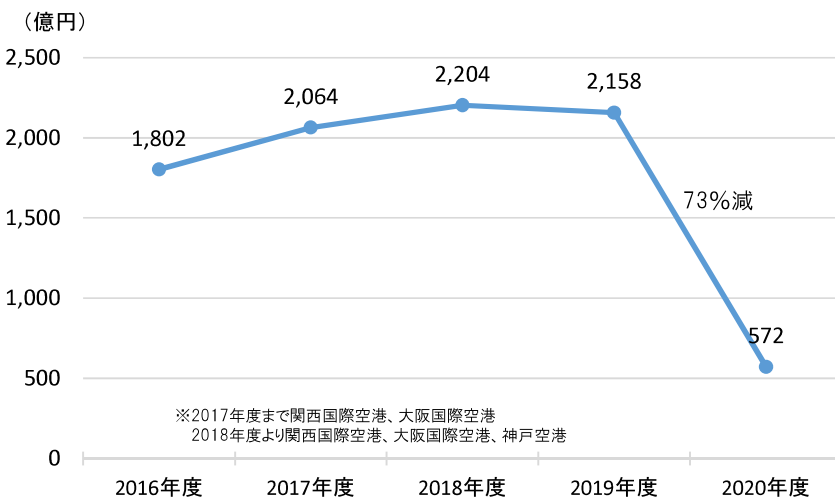


出所)各社決算説明会資料を基に作成

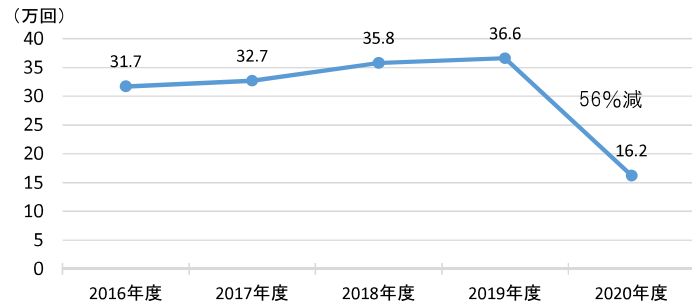
関西3空港の経営状況

- 2018年度がピーク
- コロナの影響等により、2019年度より営業収入は減収となり、2020年度では前年比73%の減収となっている

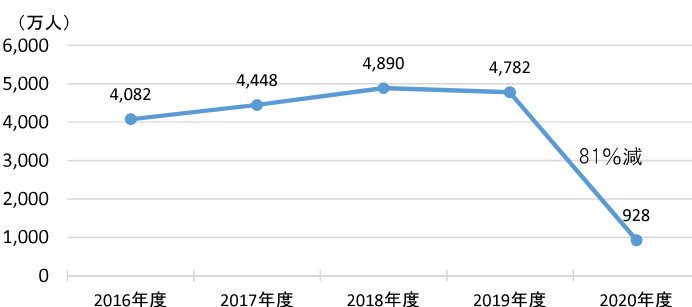
■営業収入の推移



■発着回数の推移



■旅客数の推移



出所)決算資料を基に作成

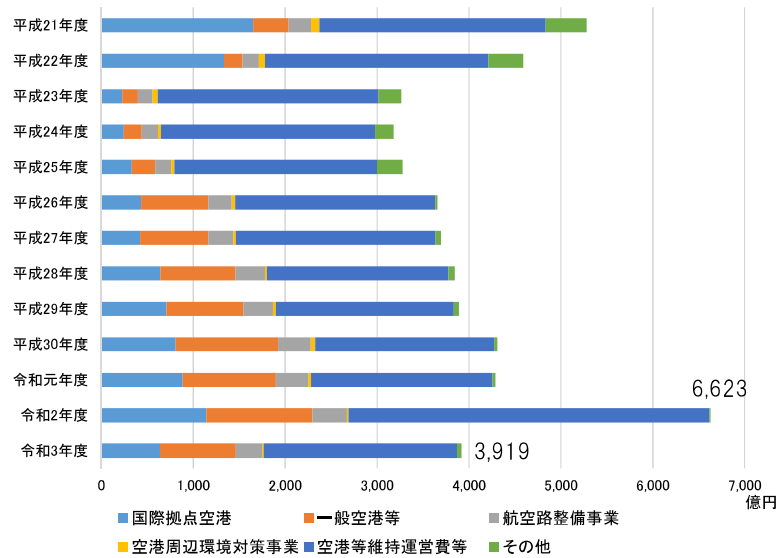
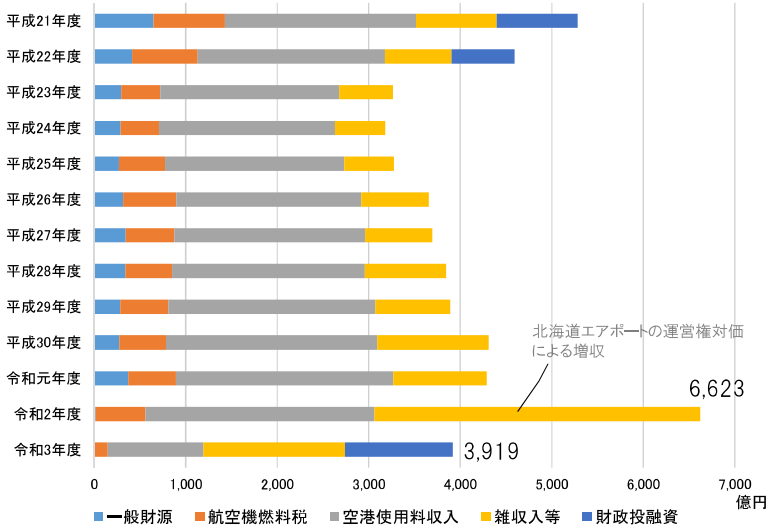
国の航空事業予算の推移

- 令和3年度の予算は、4,000億円規模
- コロナの影響等により航空機燃料税、空港使用料の収入が大幅に減少し、約10年ぶりに財政投融资を活用

■ 空港整備勘定の歳入・歳出の推移

空港整備勘定の歳入の推移(当初予算ベース)

空港整備勘定の歳出の推移(当初予算ベース)

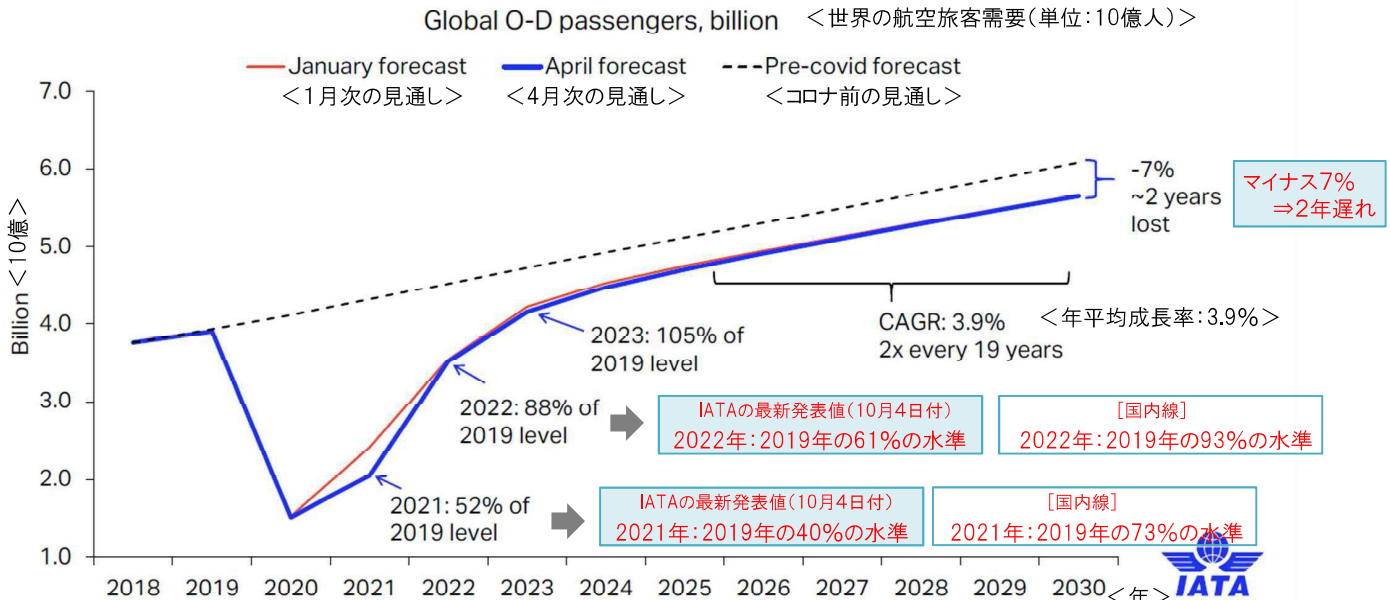


出所)「数字でみる航空2019」、「令和2年度航空局関係予算概要(令和2年1月 国土交通省航空局)」、「令和3年度航空局関係予算概要(令和3年1月 国土交通省航空局)」を基に作成

IATA(国際航空運送協会)による航空需要の見通し

- 新型コロナ発生前(2019年)の世界の航空需要水準まで回復するのは、2023年頃の見込み
- 長期的には約2年遅れで航空需要が推移すると想定

We estimate COVID-19 long-term loss of 2 years growth
Strong rebound when border travel barriers removed but not full recovery



Source: IATA Economics using data from Tourism Economic/IATA Air Passenger Forecast, April 2021.

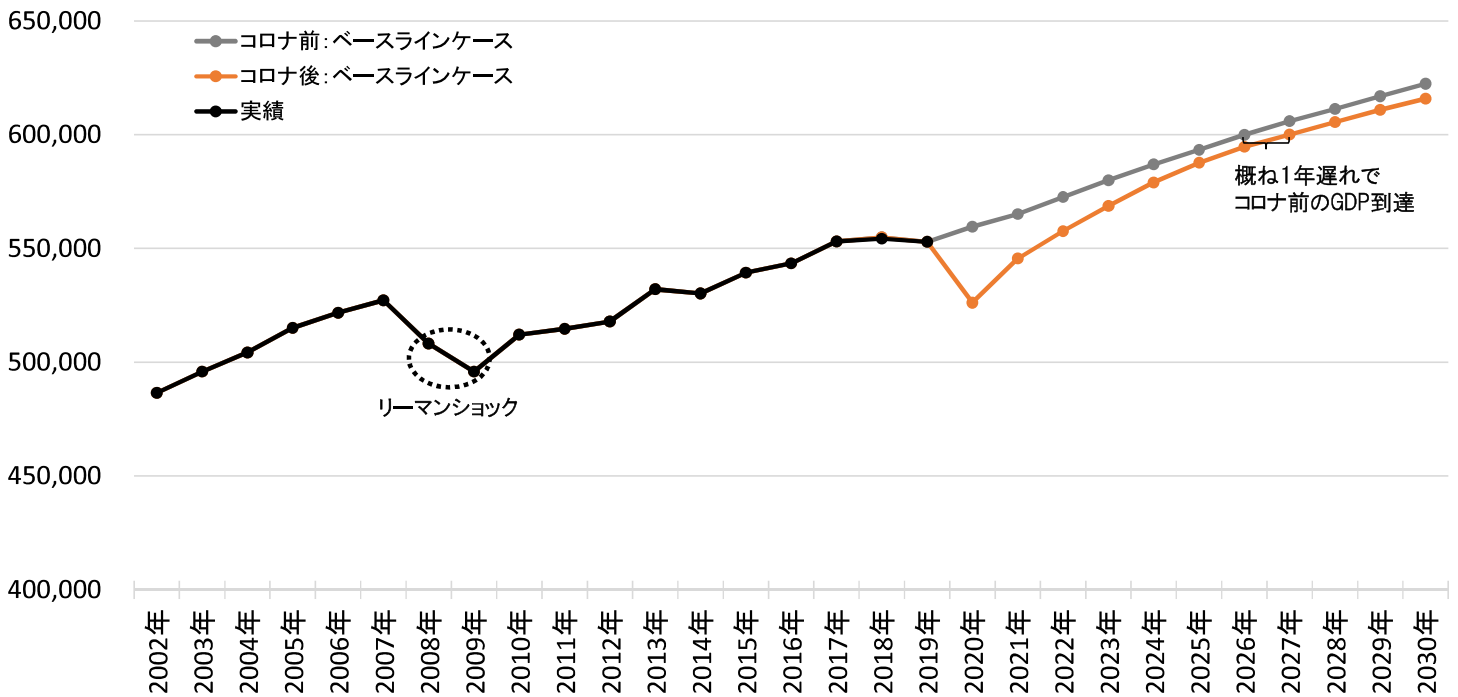
出所) IATA(2021.5)、「COVID19 An almost full recovery of air travel in prospect」、日本経済新聞電子版記事(2021年10月5日)「22年の航空需要、19年の4割減 国際線の回復足踏み」を基に作成

国内GDPの推移と見通し

- コロナの影響等により2020年度で減少するものの2021年度以降回復
- 概ね1年遅れでコロナ前の水準に到達する見通し

■実質GDP予測値

(10億円)



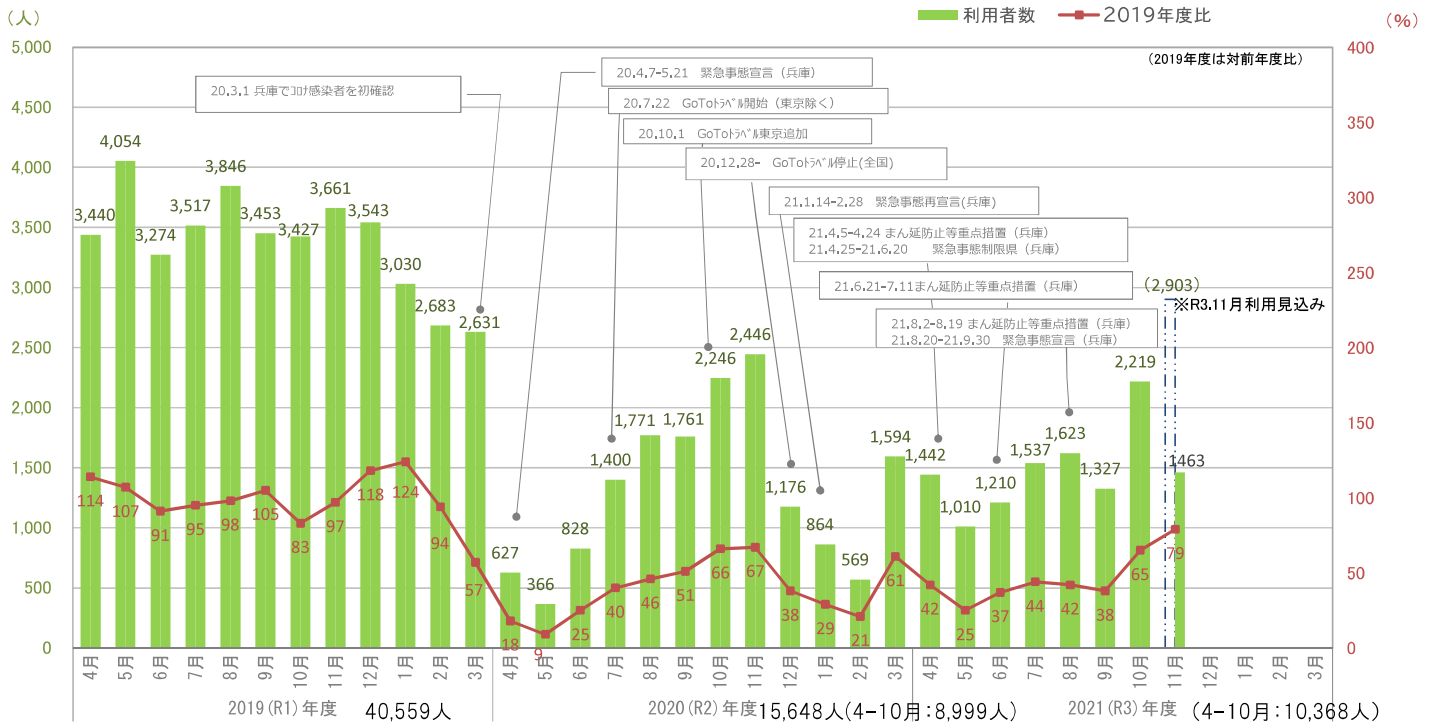
出所)内閣府:「中長期の経済財政に関する試算」(コロナ前:令和元年7月31日、コロナ後:令和3年7月21日経済財政諮問会議提出)
「2019年度(令和元年度)国民経済計算年次推計(2015年(平成27年)基準改定値)」を基に作成

但馬-伊丹路線の利用状況①

- 2020年3月以降の新型コロナの本格的な拡大により、2020年度において対前年比で約61%減と大きく減少
- 2021年(4~10月)の旅客数は前年同期比で約15%増となり、回復傾向

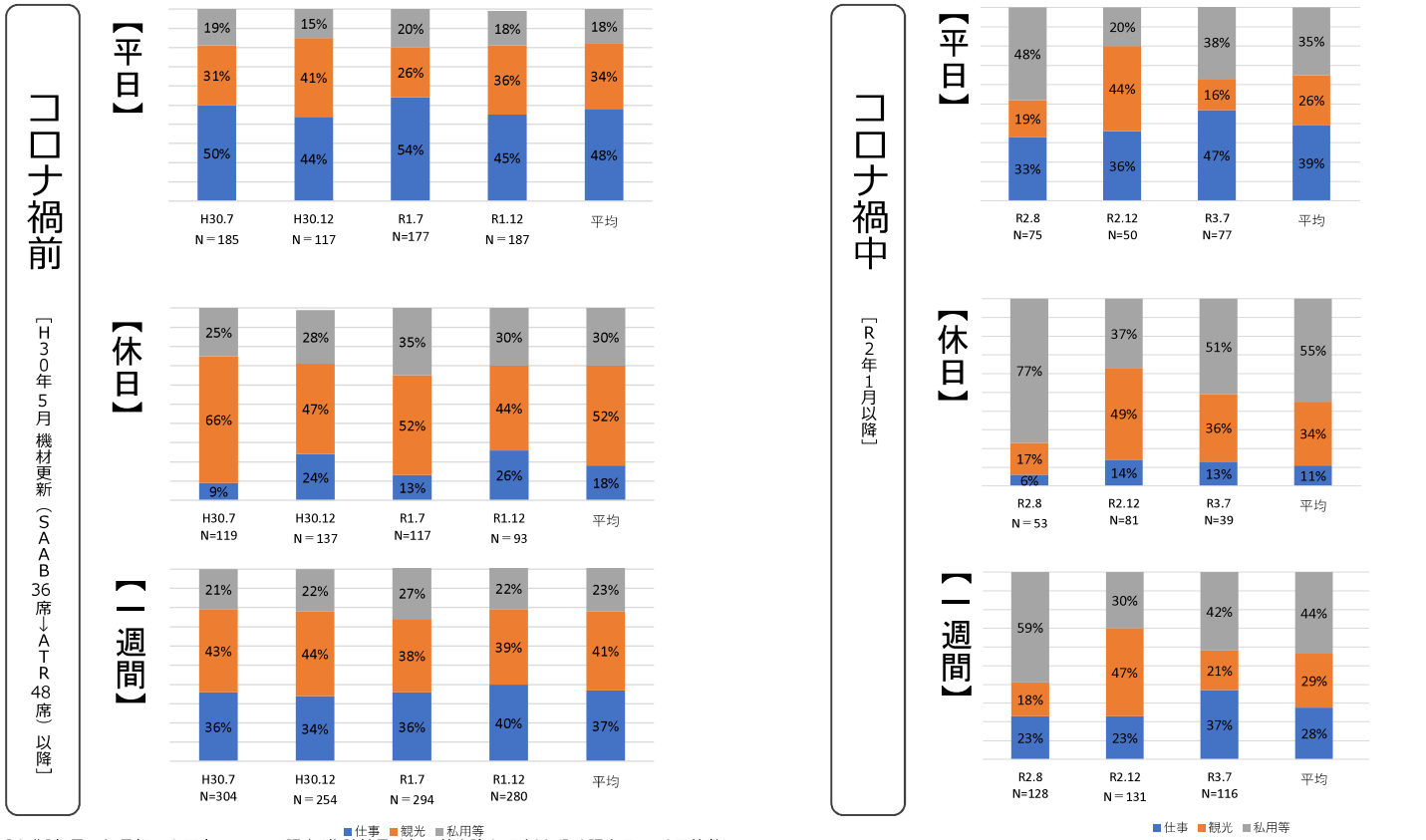
令和3年11月17日 現在

但馬伊丹路線 月別利用者数の推移 (2019(R1)年4月~)

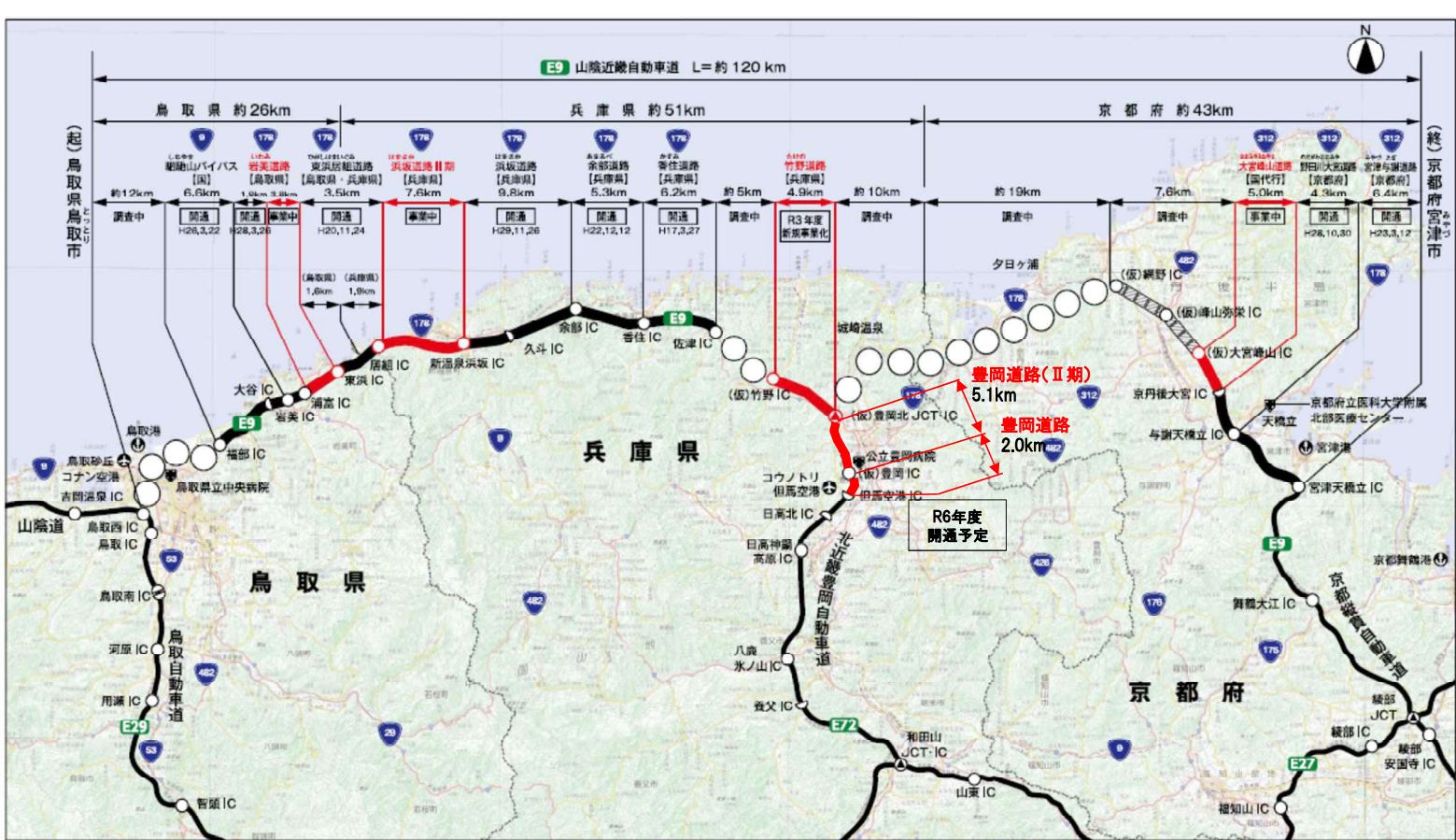


但馬-伊丹路線の利用状況②

- 但馬路線の利用目的割合は、仕事:観光:私用が概ね4:4:2だったが、新型コロナの拡大による移動自粛の影響もあり、私用の割合が増加



但馬地域の基幹道路の整備状況



但馬地域周辺の観光入込客数

●対象地域及びその周辺の主要観光施設と入込客数(令和元年度※)

年間 約1900万人



但馬・京丹後地域の主な観光資源



①松葉ガニ

カニ

・但馬での水揚げ量は全国シェア約30%と全国一位(H30)を誇る

もうし素牛

・神戸牛や松坂牛の素牛として有名
 ・全国の黒毛和牛の母牛99.9%が但馬牛の子孫



⑩但馬牛

滝

・落差98メートル、兵庫県内一の落差を誇り、「日本の滝100選」に選定



⑨天滝

山城

・雲海に包まれた姿や竹田城から見下ろす風景は、まさに天空に浮かぶ城を思わせ、「天空の城」「日本のマチュピチュ」とも



⑧竹田城跡



②山陰海岸ジオパーク

奇岩

・2010年に世界ジオパークネットワークへ加盟認定
 ・2019年に2度目の再認定



③城崎温泉

温泉

・2013年「シエラグリーン」で2つ星
 ・まち全体でおもてなし



④円山川下流域・周辺水田

こうのとり鶴

・2012年ラムサール条約湿地に登録
 ・生きものの豊かさやコウノトリ野生復帰の取組みが、世界の宝として認定。



⑤夕日ヶ浦

夕日

・日本の夕陽百選の一つ、最寄りの木津温泉は足湯があるなど温泉地でもある



⑥琴引浜

ビーチ

・鳴き砂で世界的にも有名な琴引浜
 ・日本で最初の禁煙ビーチ



⑦出石そば

そば

・江戸時代より続く、歴史ある郷土料理
 ・小皿に分けた独特のスタイル、多彩な薬味とダシにこだわったつゆが特徴

観光需要の動向

■ 外国人旅行客の動向

- ① 城崎温泉は、外国人宿泊者数が急増。
(H17:800人 → H25:約1.1万人 → H29:約4.5万人)
- ② H25年、旅行ガイドブック「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」(フランス語版)に、城崎温泉が、二つ星として掲載。
- ③ ただ、但馬空港の外国人利用はほとんど見られない
・年間100人未満程度 → **航空機利用の伸びしろは大きい**
(参考) R1:827千人(城崎温泉の観光入込客数)

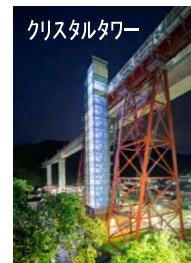


■ 急増する観光客

- ① 竹田城跡への観光客数はテレビCM等の影響で急増
(H17: 2千人 → R1:174千人) ※過去最高はH26:582千人
- ② 余部橋梁「展望施設『空の駅』」の開設(H25年)
エレベーター「余部クリスタルタワー」の設置(H29年)
(H19:209千人 → R1:314千人)



余部橋梁



クリスタルタワー

■ 芸術文化観光専門職大学が開学

- ① 国公立大学では初めて演劇やダンスを本格的に学べる四年制の県立大学が豊岡市内で開学(R3.4)
- ② 初年度は北海道から九州まで全国各地から600名を超える志願者(84名入学)(定員 80名/学年×4学年=320名)



芸術文化観光専門職大学



スタジオ

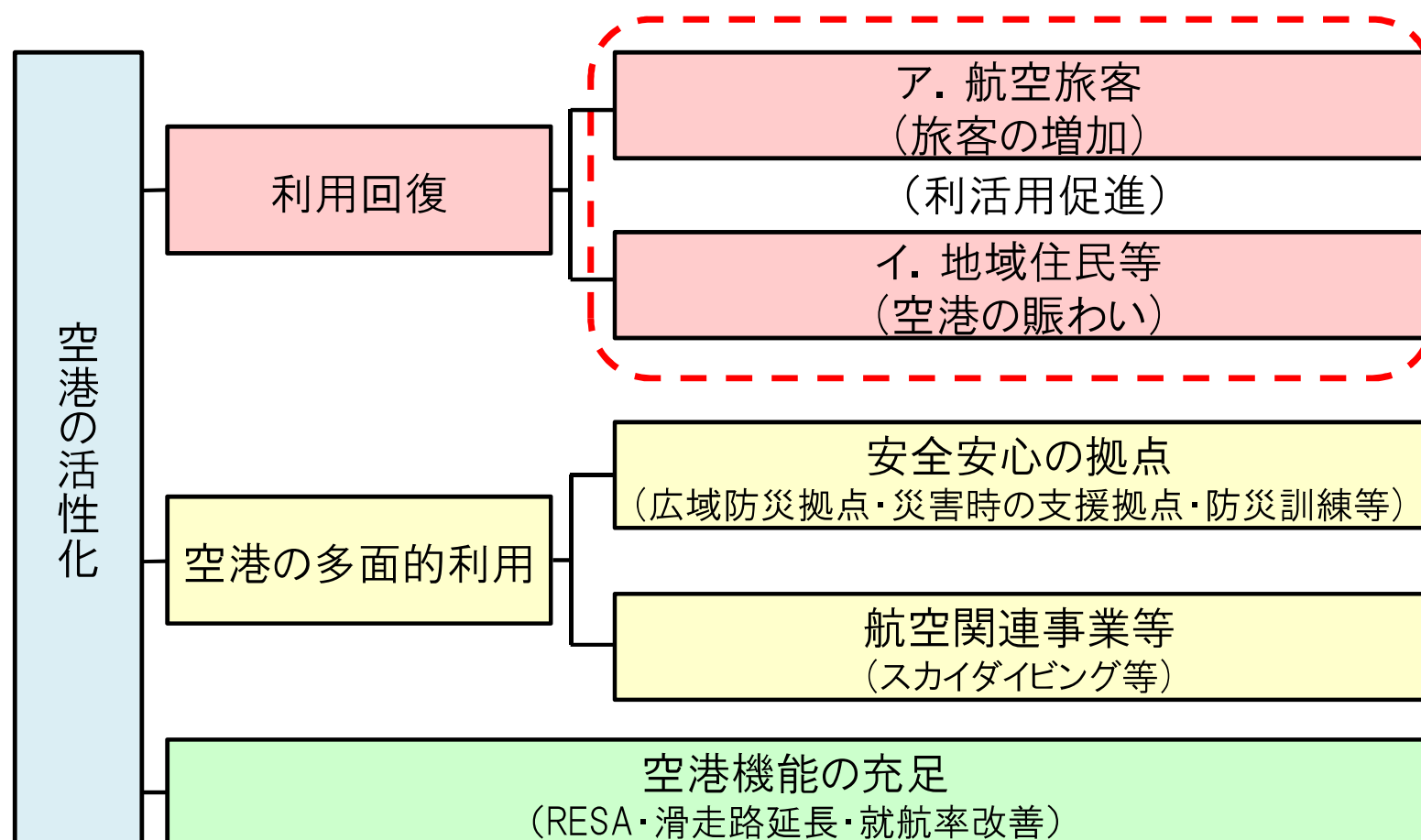


学術情報館の大階段

■ 豊岡演劇祭の開催

- ① R元年から開催
・R元年 第0回(9/6~8、延べ来場者数 約1,400人)
・R2年 第1回(9/9~22、延べ来場者数 約6,500人)
- ② 劇団「青年団(平田オリザ氏主宰)」の拠点として「江原河畔劇場」が開館(R2.4)

利用回復及び空港の活性化に向けた取組み



これまでの主な取組み

ア. 航空旅客（旅客の増加）

▶ 臨時チャーター直行便の運航

令和2年度 長崎 - 但馬 R2.12/3~5(2泊3日)

・航空会社	オリエンタルエアブリッジ(株) (ORC) 拠点:長崎空港
・参加者数	但馬出発客 29名、長崎出発客 23名
・チャーター機	DHC-8-201(39人乗り)
・運航便数	2往復
・主な訪問先(但馬側)	余部鉄橋空の駅、出石城下町、玄武洞、湯村温泉



ORCのDHC-8-201とJACの定期便ATR42-600(奥)(R2)

令和3年度 鹿児島 - 但馬 R3.11/14~16(2泊3日)

・航空会社	日本エアコミューター(株) (JAC) 拠点:鹿児島空港
・参加者数	但馬出発客 28名、鹿児島出発客 46名
・チャーター機	ATR42-600(48人乗り)
・運航便数	2往復
・主な訪問先(但馬側)	城崎温泉、竹田城跡、コウノトリの郷公園、生野銀山



鹿児島空港から到着した参加者(R3)

これまでの主な取組み

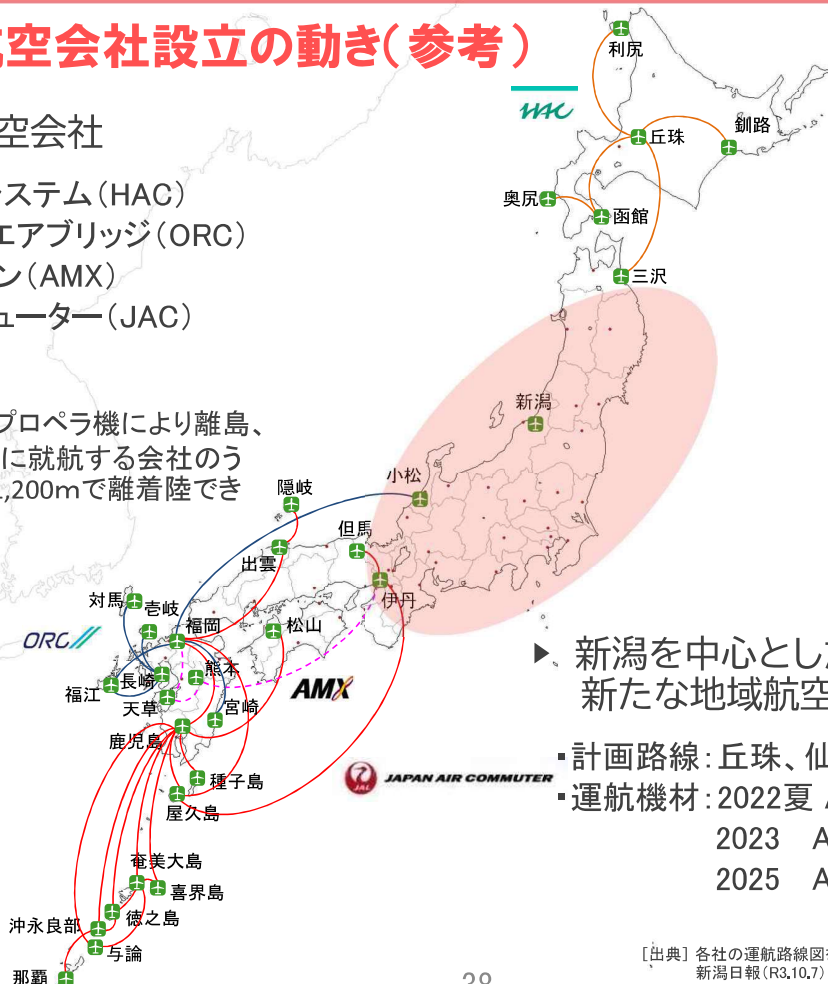
新たな地域航空会社設立の動き(参考)

▶ 主な地域航空会社

- ・北海道エアシステム(HAC)
- ・オリエンタルエアブリッジ(ORC)
- ・天草エアライン(AMX)
- ・日本エアコミューター(JAC)

※地域航空会社

主に30~70席程度のプロペラ機により離島、その他の地域航空路線に就航する会社のうち、但馬の現滑走路長1,200mで離着陸できる機材を保有する会社



▶ 新潟を中心とした新たな地域航空会社が設立

- ・計画路線: 丘珠、仙台、首都圏、中京圏、関西圏
- ・運航機材: 2022夏 ATR72(リース契約済)
- 2023 ATR42
- 2025 ATR42S

[出典] 各社の運航路線図を参考に作成
新潟日報(R3.10.7)、月刊エアライン2021年11月

これまでの主な取り組み

ア. 航空旅客（旅客の増加）

▶ 魅力ある空港空間づくりや利用促進

■ 空港トイレのリニューアル



■ ロビー改修



■ コウノトリ但馬空港サポートクラブ

但馬空港が但馬地域に賑わいと活力をもたらす交流の拠点となるよう、空港を盛り上げてくれる方々のサポートクラブを開設。

但馬、伊丹空港での飲食割引、但馬でのレンタカー割引等の特典が受けられる。

■ ビギナーズブックの作成

飛行機を初めて利用する方や乗り慣れていない方を対象に、搭乗手続き、乗継ぎ方法、空港へのアクセス等が簡単にわかる冊子を作成し、旅行代理店等で無料配布。

■ 初乗りチャレンジャー

但馬地域在住者で但馬-伊丹路線を初めて利用する方を対象に、飛行機の利便性や快適性を体験していただくための搭乗ツアーを実施。



これまでの主な取り組み

ア. 航空旅客（旅客の増加）

▶ 「English Café With ふるさと応援隊」

日本航空株式会社と連携して取組む地域活性化事業の一環。

豊岡市但東町高橋地区での地元住民運営の児童英語教室「English Café」で、3名のJALふるさと応援隊が客室乗務員としての経験を踏まえた“英語授業”などで地域づくり活動に参加。

日時	令和3年11月21日(日) 11:00-16:30
スケジュール	11:00-12:05 English Café(英語教室)
	12:05-16:30 昼食・交流事業

※ふるさと応援隊は、伊丹空港～但馬空港を利用して豊岡入り



英語授業等の様子

◆ JALふるさと応援隊

日本航空では客室乗務員から希望者を募り、令和2年10月、全国で約1,000名の「ふるさと応援隊」を任命。乗務を継続しながら、全国の地域活性化などに取組む。

これまでの主な取組み

イ. 地域住民等（空港の賑わい）

▶ 多彩な空港イベント等の実施



空港まるごと見せちゃいますツアー
(R1:340人/111組)



空港キャンプ
(R1:55組)※R3実施エリア拡大(R3.7~10月:581組)



飛行機(YS-11)の一般公開



空港コンサート
(R2:2回開催)



滑走路マラソン
(R1:157人)



空の自然教室
(R1:1,500人)

これまでの主な取組み

■ 安全安心の拠点



総合防災訓練

■ 航空関連事業等



スカイダイビング

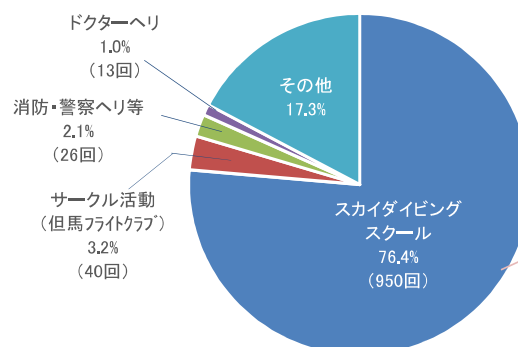


ビジネスジェット発着



ドクターヘリ

定期便以外の発着内訳(R元年度)



西日本唯一のスカイダイビングができるスポットとして、ファン層を獲得

※R1年度に開港25周年記念事業として、ビジネスジェットによる但馬-羽田運航を実施

他空港での取組み

ア. 航空旅客（旅客の増加）

▶ 山形空港（国設置・山形県管理）

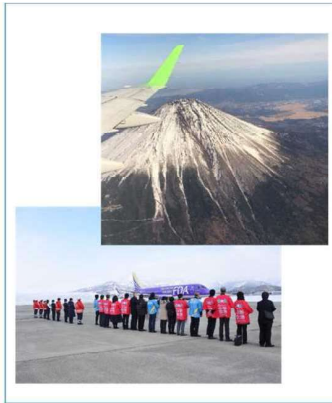
■ 山形空港発着の遊覧飛行体験ツアー

コロナ禍において定期便の運休が続く中、飛行機に親しむ機会を創出し、新たな需要に繋げる。

県内上空遊覧(JAL)



富士山遊覧(FDA)



■ 山形空港サポーターズクラブ

ビジネス利用の促進のためのサポートクラブ。特に名古屋便・札幌便の利用拡大に向けて経済団体と連携し、企業向けにプロモーションを実施

会員：企業会員 758社
個人会員 4,533名

山形空港内での特典に加え、就航先での利用促進策も実施

特典：羽田ラウンジ利用、会議室利用

特典：名古屋小牧一名古屋駅間のアクセスバスへの助成



他空港での取組み

ア. 航空旅客（旅客の増加）

▶ 山形空港（国設置・山形県管理）・庄内空港（山形県設置管理）

■ 山形空港旅くらぶ

旅行利用の促進のための旅くらぶ
観光需要が下がる冬期間の対策や個人旅行者拡大を目的に設置
特にアクティブシニアをターゲットに取組む

■ 山形・庄内空港連携レンタカー乗り捨て

県内2空港の利点を活かし、山形、庄内空港相互のイン・アウトになる利用を促進するため、両空港間でのレンタカー乗り捨てを支援
※同取組みを山形空港・仙台空港間でも実施

おいしい山形空港旅くらぶ通信【第16号】2019.4.3

おいしい山形空港旅くらぶ会員限定
山形=札幌（新千歳）便
+往復5,000円+
キャッシュバック！

春のキャッシュバックキャンペーン

320席限定！

日頃よりおいしい山形空港をご利用いただきましてありがとうございます。
山形=札幌（新千歳）便を対象とした助成キャンペーンのお知らせです！
旅くらぶ会員限定『春のキャッシュバックキャンペーン』をスタートします！
ぜひお花見シーズンの北海道へお出かけください♪♪

対象路線	山形=札幌（新千歳）
助成対象期間	2019年5月8日(水)~2019年5月30日(木)
助成対象額	往復利用7,500円（片道利用の場合4,500円）

山形空港=庄内空港レンタカー乗り捨てキャッシュバック

山形空港（山形駅前）=庄内空港
レンタカー乗り捨て料金
3,000円キャッシュバック

＜対象のルート＞
山形=庄内
庄内=山形

＜対象のレンタカー＞
1. 山形空港から庄内空港へ、または庄内空港から山形空港へ、片道のみ利用する場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
2. レンタカーを山形空港で借り、山形駅で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
3. レンタカーを山形駅で借り、山形空港で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
4. 山形駅で借り、山形空港で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
5. 山形空港で借り、山形駅で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。

＜ご利用方法＞
1. 山形空港から庄内空港へ、または庄内空港から山形空港へ、片道のみ利用する場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
2. レンタカーを山形空港で借り、山形駅で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
3. レンタカーを山形駅で借り、山形空港で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
4. 山形駅で借り、山形空港で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
5. 山形空港で借り、山形駅で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。

＜お問い合わせ先＞
山形空港：0237-47-0100
庄内空港：0234-92-1000

【参考】仙台空港との連携

仙台空港間レンタカー乗り捨て
キャッシュバック

仙台空港=山形空港・山形駅前
レンタカー乗り捨て料金
3,000円キャッシュバック

＜対象のルート＞
山形=仙台
仙台=山形

＜対象のレンタカー＞
1. 山形空港から仙台空港へ、または仙台空港から山形空港へ、片道のみ利用する場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
2. レンタカーを山形空港で借り、仙台駅で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
3. レンタカーを仙台駅で借り、山形空港で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
4. 仙台駅で借り、山形空港で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。
5. 山形空港で借り、仙台駅で返す場合、往復合計3,000円キャッシュバックが適用されます。

＜お問い合わせ先＞
山形空港：0237-47-0100
仙台空港：022-232-0100

他空港での取組み

ア. 航空旅客（旅客の増加）

▶ 佐賀空港（佐賀県設置管理）

■ マイエアポート運動

個人や事業所に佐賀空港の積極的な利用を「マイエアポート宣言」として宣言してもらい取り組み。宣言事業所の利用者数は、宣言前と比べ40%以上も増加。

個人

■ マイエアポート・クラブ

「佐賀空港を積極的に利用します」という宣言文が印刷された会員証に署名
 <特典> ターミナルビル内でのお買物・食事特典、有料ラウンジの割引、レンタカー割引

事業所

■ 事業所責任者が宣言に署名し、職員の目につきやすい箇所に掲示

各事業所に応じた利用目標を設定（少し意識することで達成できる高くない目標）
 [R3.10現在] 約2,500事業所（佐賀県のみならず、福岡県、熊本県に加え全国各地）
 （宣言例）・佐賀空港の利用率を50%から80%にアップします
 ・首都圏からの顧客に対して、佐賀空港の利用を勧めます

<特典> 羽田・成田便20回利用につき、1往復分(2回分)の航空券を進呈、お買物特典、有料ラウンジの割引、リムジンタクシー割引、佐賀空港HPでの事業所紹介

旅行代理店

■ マイエアポート・サポーター

佐賀空港のPRチラシやポスターを店頭で設置、サポーターと書かれたのぼり旗を設置
 [R3.11現在] 49代理店（佐賀県のみならず、福岡県、熊本県）

<特典> 佐賀空港HPでのサポーター代理店や取扱商品等の紹介、事業所訪問時に、サポーター代理店の旅行商品パンフレットを持参・紹介

[出典]九州佐賀国際空港HP、航空・空港施策の展望-アフターコロナを見据えて(一財)関西空港調査会)p117

他空港での取組み

ア. 航空旅客（旅客の増加）

▶ 南紀白浜空港（和歌山県設置管理） ▶ 高松空港（国設置管理）

■ オンデマンド型シャトルサービス

連絡バスの運行本数が少なく、空港と自宅・目的地間の移動手段が限定的な南紀白浜空港において、オンデマンド型シャトルサービスの提供を開始



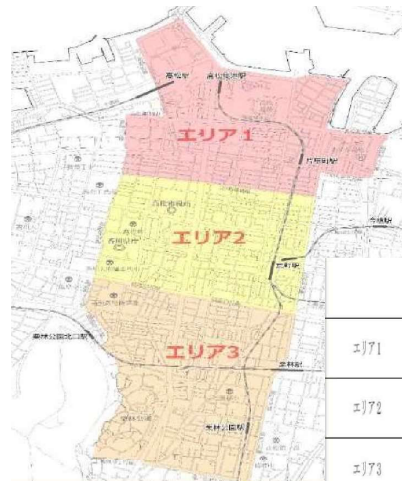
フライトにあわせて東京23区の自宅・ホテルから空港までドアツードア移動

ダイヤ変更にもオンデマンドで柔軟に対応できる。電車・バスを補充する新たな移動手段として、空港からホテルや主要エリアまで快適移動

出所:(株)南紀白浜エアポートHP

■ 定額タクシーサービス

高松空港から高松市内中心部の3つのエリアを対象に、安心でお得な定額タクシーを利用できるサービスの提供を開始



車種区分	定額運賃	
	[深夜早朝の場合]	
エリア1	中型車	4,400円 / 5,280円
	小型車	4,100円 / 4,920円
エリア2	中型車	4,200円 / 5,040円
	小型車	3,900円 / 4,680円
エリア3	中型車	3,800円 / 4,560円
	小型車	3,600円 / 4,320円

(各エリア別、通常運賃と比べて100円~500円程度お安くになっています)

出所:国土交通省HP

他空港での取組み

イ. 地域住民等（空港の賑わい）

▶ 福島空港（福島県設置管理）

■ 物産展

北海道の旅を紹介する情報コーナーと実演・試食販売の物産展が大集合



出所:福島空港ビル(株)HP

■ 伝統工芸品の展示・卸売・体験教室

地元の伝統工芸品・一貫張りの展示・販売・体験教室を実施



出所:福島空港ビル(株)HP

■ オンラインツアー

コロナ禍で海外旅行ができない中、オンラインで台湾の観光スポットや食の魅力を発信



出所:福島空港ビル(株)HP

■ ウルトラマンオフィシャルショップ SHOT M78

ウルトラマンの生みの親「円谷英二」監督のふるさとにちなんだ東北唯一のオフィシャルショップ



出所:福島空港ビル(株)HP

他空港での取組み

イ. 地域住民等（空港の賑わい）

▶ 能登空港（石川県設置管理）

■ 道の駅が併設



出所:道の駅公式HP

■ 行政庁舎が合築



出所:石川県奥能登総合事務所HP

(参考)

全国の空港で道の駅が併設されているのは能登空港と大館能代空港(秋田県設置管理)の2箇所。



出所:大館能代空港ターミナル(株)HP

■ オートイベント

全国から選りすぐりの名車を多く展示



出所:FlyTeam HP

これまでの懇話会での利活用促進等に関する意見

項目	意見
①災害拠点としての活用	・南海トラフ地震等の自然災害に対するバックアップ機能を確保する観点が必要。
②航空機利用者数の増に向けた取り組み	・城崎温泉を利用する外国人が4.5万人もいるので、空港利用に繋げていくことが重要。 ・但馬と京丹後が連携し、但馬・丹後・若狭の玄関口としてより多くの人を呼び込むよう努めるべき。 ・人口減少の中では、外国人の取込みや観光交流人口を増やすことが必要。その上で地域には+α行く理由が必要であり、その一つが芸術文化観光専門職大学や演劇の街である。遠くから行ってみたいと思わせる仕掛けが必要。
③2次交通の充実	・但馬空港と地域とのアクセスに先端的なモビリティを活用
④空港運営方法	・小さい空港でも運営方法によって希少性を高めることができ、魅力的な空港になる。 ・コウノトリという素晴らしい愛称を体現化し、環境に優しく、自然と共生する空港運営方法を目指すべきだ。 ・地域住民が集うイベント開催、魅力的なレストランで賑わいが創出された空港もある。地域と一体となった空港運営方法を取り入れるとよい。

まとめ

期待される役割	これまでの取り組み	課題	今後の方向性	取組案
安全安心の拠点	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 広域防災拠点（備蓄倉庫の整備等） ▷ 災害時の支援拠点（H16年台風23号等） ▷ 防災訓練の実施（年1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 住民の認知度が低い <small>※出典：但馬・京丹後居住者アンケート（H26）</small>	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 安全安心の拠点としての機能維持 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ これまでの取り組みの継続 ▷ 啓発・PR活動の実施
航空の活性化 賑わいの創出	航空旅客 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 空港施設の提供 ▷ チャーター便の運航 ▷ トイレのリニューアル ▷ 待合スペースの改善（コンセントやWi-Fiの提供、ワーキングスペースの整備等） ▷ コウノトリ但馬空港 サポーターズクラブ ▷ ビギナーズブックの作成 ▷ 初乗りチャレンジャー 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 旅客特性の変化への対応（乗継客、外国人の増加等） ▷ リピーターの確保 ▷ 羽田空港以外の乗継利用者が少ない（増加余地） 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 顧客満足度や利便性の向上を通じた但馬空港利用者の拡大 ▷ 待ち時間の快適性向上 ▷ 乗継利用者の拡大 ▷ 潜在需要の開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 初乗り奨励の強化 ▷ 新しい航路の検討 <ul style="list-style-type: none"> ○チャーター便事業の継続 ▷ 隣接空港との連携・推進 ▷ 新たなモビリティ導入による2次交通の利便性向上 ▷ 伊丹空港での乗継ぎ利便性を周知 ▷ 快適なラウンジの整備 ▷ 利用者目線に立った品揃え（住民もターゲットとし、就航先の特産品販売等）
	地域住民等 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 但馬空港フェスティバル(航空ショー) ▷ 空の自然教室(年1回) ▷ 多目的ホールの活用(電化製品販売会・ワクチン接種会場等) ▷ 航空機(YS-11)の展示 ▷ 旅券事務所 ▷ 空港レストラン ▷ 空港コンサート、空港ピアノ ▷ 滑走路マラソン ▷ 空港公園キャンプ ▷ 芝生広場、コスモス畑 ▷ 園児や小学生の体験搭乗 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 継続的な賑わいの創出 ▷ 但馬空港への親近感の醸成(将来的な空港利用者の拡大) 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 住民にとって親しみやすい空港づくりの推進 ▷ 空港の認知度向上 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 定期的なイベント・催しの開催・定着 [イベント例] <ul style="list-style-type: none"> ○マルシェ、朝市、産直市 ○寄席 ○季節イベント(イルミネーション、ひな人形展示、鯉のぼり掲揚、七夕、月見会、等) ▷ 行政センターの合築 ▷ 道の駅の機能の整備
	航空関連事業等 <ul style="list-style-type: none"> ▷ スカイダイビングや写真撮影等による利用 ▷ セスナ遊覧飛行 ▷ 太陽光発電事業 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 空港周辺に活用できる用地がある 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ レジャー空港、産業航空による空港の利用促進 ▷ 空港周辺用地の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ▷ 市場調査や航空関係者へのセールス強化

利用回復の観点

移動目的(本源的需要)

(ニーズ)

- 観光を楽しみたい
- 豊かな自然の中で癒やされたい
- 商品のことをもっとよく知りたい

(必要な条件)

- 地域の魅力(観光資源、風土、食)
- 多様なビジネスチャンス
- 十分なPR



移動手段(派生的需要)

(ニーズ)

- Ⓢ 短時間で移動したい
- ⓐ 経済的な経路を選択したい
- Ⓝ 乗り換えを減らしたい

(必要な条件)

- 低廉な運賃・費用
- 所要時間の短さ
- 移動時間の快適性

例) 東京から京都へ新幹線で観光に行く場合、「京都で楽しみたい」というニーズが“本源的需要”、「新幹線で京都へ移動する」という交通需要が“派生的需要”

■ 地域の更なる**魅力向上**により**移動目的(本源的需要)**が増大

⇒ **移動(派生的需要)**が増加

⇒ **但馬-伊丹路線の利便性向上や周知により旅客数が増加**

⇒ **地域活性化、交流人口の拡大 ⇒ より便利な移動手段が必要**